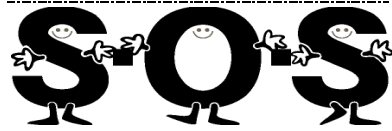


◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら



vol. 168通信
H26年8月8日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《8月予定》

10日 日外食DAY
16日 14:00 愛宕の家家族懇談会
16日 16:00 孟蘭盆経
16日 17:00 夏の宴
20日 避難訓練
31日 誕生日会

《不定期行事》

天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します

《利用状況案内板 (☆募集中 ★満員)》

★ナイス・ケア

☆ナイス・デイ (定員10名/日)

日	月	火	水	木	金	土
6	6	7	7	6	7	6

☆ナイス・ホーム(登録者19名/定員21名)

☆愛宕の家(入居者14名/定員17名)

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ

☆打太鼓 8月生(新メンバー)大募集♪

～上記を参考にご利用下さい～

目標達成まであと一息/ナイス・ケア

Sさんとは、若くして脳梗塞の後遺症に悩んでいた頃のリハビリ通院の対応から関わって来ました。早いもので約10年。当初、「身体に触られるとバランス崩れるから…」と身体に触られる事を極度に嫌われていました。視野狭窄もあり、人や物とのすれ違った瞬間に恐怖や不安で震え、立ち止まってしまう事もありました。それでも誰かが傍にいないと不安で動きが取れない状態。Sさんの動けるタイミングを気長に待つことが私達のできる一番の援助だった。その時、Sさん45歳。

最近、「駅まで歩いたよ」と、日焼けで真っ黒。パソコンを操作しては「ハローワークへ問い合わせしてみたよ」と笑顔でヘルパーに報告してくれます。当初の長期目標だった、“社会復帰”まであと一息。社会復帰をされた場合、私達ヘルパーの存在は不要になるだろうと思うと淋しい気もしますが、目標達成は私達にとっても嬉しい限りです。頑張ってください。(K・N)

これからの課題/ナイス・ホーム

ナイス・ホーム再開から約3年。この間、ほぼ同じスタッフが配置されていた。だからこそ、馴染みの関係作りには困らなかった。

7月1日の配置替えで、通所介護や訪問介護で勤務していたスタッフが仲間入り。私は、制度に慣れるまで戸惑うだろうと思っていた。しかし、戸惑ったのは私達。『何故?』『どうして?』という疑問を投げかけられても、経緯の根拠を的確に伝えられる記憶がない。記録が大雑把すぎて分からないという失態が明白だった。

う～ん???何故だろう・・・と考えてみると、あまりにも馴染み過ぎて「〇〇するのが当たり前だから・・・。」という価値観に犯されてしまっていることに気付いた。やばい・・・(汗)

通所介護や訪問介護の法令の厳しさと比較すると小規模多機能は柔軟で何でもあり??その時々に合わせて様々な対応をしてきた。今回の配置替えを聞かされた時、意図を聞いても何故なのかイマイチ分からなかったが、やっと理解できた。

馴染の関係=慣れ合いの関係=勝手な思い込み=記録のずさんさこれを改善させたかったのだ。一人として同じ対応の方がいないからこそ、〇〇する根拠に疑問を感じ、言葉で確認し、経緯を記録に残すことがいかに大切か。改めて気付かされた7月でした。(Y・O)

奇跡の生還/愛宕の家

大正11年生まれ92歳Aさん。愛宕の家に入居して1年9ヶ月。今回体調を崩して以降、食事や水分が摂れずベッドから起き上がれない状態が3週間ほど続いた。老衰の自然な流れ・・・と最期も視野に入れて関わりを持つようになったが、皆、「好きなドーナツなら食べられるかな?』『口当たりの良い果物やゼリーはどうだろう・・・。』入れ替わり立ち代り、何とか口に食べ物を入れてもらおうと苦心していた。

「アイスクリームは?」と試したとき、1個ペロリと食べた!!これをきっかけに少しずつ他の食べ物も食べられるようになり、日に日に元気になってきた。そしてついに!!!「起こしてちょ～だい!皆と同じ場所に行きた～い」と部屋から声が!早速フロアへ出て定位置に座る。元気な時と同じように。他の入居者から「あんた何処へ行っったの?いないで寂しかったわ」と声をかけられ、とても嬉しそうな笑顔。きっとベッド上で他の方の会話を聞くだけの日々が淋しかったのだろうなあと思った。最期かも・・・と思った時もあったが、そんな光景を眺めていると元気になって良かったと心から思う。対応に困るところまで元気になっちゃうかもしれないけれど、それもまた楽し♪♪(笑)(E・T)



《ご案内》

平成26年8月16日(土)

◆愛宕の家家族懇談会 14:00-16:00

◆孟蘭盆経 16:00-17:00

◆夏の宴 17:00~19:30

毎年恒例となった夏の宴。利用者&家族・事業所・地域の方々等々、軽い夕食を兼ねて盆踊りやゲームに足をお運び下さい。



◆利用者アンケートの実施

7月下旬にお願いしていた利用者アンケートの作成が間に合わず、8月の請求書送付時に同封させていただきます。利用者さん及びその家族の忌憚ない言葉を聞かせて下さい。今後に生かします。

生活相談員/ナイス・デイ

今年、介護福祉士の資格を取得。早速、7月1日から生活相談員として配置された。

生活相談員って何だ?

自分なりに調べ、考えた。

利用者さん、個々との関わりの中、快適に日々を送れるように同僚や上司に相談・報告、時には関係機関などへの伝達調整を含めた業務。

また、利用者さんの『自立』を支援する事。

その場その場の介助以外に、全体を眺め、支援する事が課せられていると感じた。

利用者さんの状態が日々変化するように、介護に関する法令関係も年々と変化しているのが現状である。

私は、広い知識と視野を持って、利用者さん、ご家族、スタッフから「話しやすい相談員」になれるよう、日々精進していこうと思う今日この頃である。(S・H)



編集後記

7月1日付けで愛宕の家の代表と統括看護師を務めることになりました。7月18日愛知県の立ち入り調査にも立ち会いました。改善点はあったものの、『ちゃんとやっていますね。』の一言に、会社の方向性が間違っていないことに喜びを感じるとともに、継続と更なる前進を求められたようで気が引き締まりました。今月(8月16日)に開催する愛宕の家家族懇談会でも詳細をお話しさせていただきます。(M・T)

多種職連携で得られたもの/愛宕の家(看護師)

平成26年6月28日愛宕の家で入居者Sさんが亡くなった。訪問介護と通所介護の利用から関わりが始まり、長男さんの不慮の死により愛宕の家に入居した。その間6年程のお付き合い。

愛宕の家では“看取りの同意書”がある。“死”に対して話し合うきっかけ作りだ。当初、次男さんは『何とも言えない。現状では何も決められない』と答えたため、同意書は次男さんに渡した。

今年の4月肺炎発症。かかりつけ医は入院を勧めたが家族は出来る限り愛宕の家での生活を望んだ。「肺炎が悪化し死に至る可能性もある。緊急時は延命処置、つまりは人工呼吸器を希望するか?」との追加説明に『希望しない。しかし、だから何もしないのとは違う。』と答えられた。

治療で一旦は改善に向かったものの、呼吸状態が悪くなり入院を余儀なくされた。入院治療により肺炎は改善したが、嚥下機能が低下した。

主治医から電話が入った。「愛宕の家ではIVHや胃瘻でも受入可能か?なるべくSさんがいた場所に戻してあげたいと思っている。」との打診だった。愛宕の家に帰ってこられるように、家族・ケアマネ・主治医・かかりつけ医・愛宕の家・訪問介護担当者との話し合いを繰り返した。

今後予測されることをご家族と一緒に考えた。“胃瘻”とは“IVH”とは何か・・・結果、迷いながらも『胃瘻やIVHは希望しない。このまま愛宕の家に戻りたい。口から食べられる限りの関わりを頼みたい。』主治医はその想いを受入れ、更に、緊急時の受入れも了解してくれた。看護師の立場としてはそれがとても心強かった。家族も同じだろう。

H26年5月22日退院。退院した日からお風呂に入った。

日常生活から受ける刺激・・・、起きることには始まり、車椅子に座り皆の音が聞こえる場で過ごす時間を作った。お風呂に入った後は少しずつ口から飲む!ペロペロキャンディーに始まり、アイスクリームやバナナも食べられるようになった。表情が出た!愛らしい笑顔!!美味しく食べている様子には家族もスタッフも心躍った♪♪

微熱は続き、緊張した日々だったが、高熱を出すことは無く、それなりに安定していた。退院から2ヶ月が経とうとしたある日、何だかいつもと違う。血圧・脈拍・体温等の数値は安定していたが表情が違う。家族へ連絡した。「何の根拠もないけれど、(最期が)近いかもしれません。」

翌朝、眠るように息を引き取り、家族は、まだ温かい手を握った。

次男さんからは『最後の電話を受けたとき、本当の意味で覚悟ができました。ありがとうございました』との言葉を受けた。

この言葉で、去りゆく者の穏やかな最期と、これから生きる家族の気持ちも穏やかで豊かであることは宝物だと感じている。

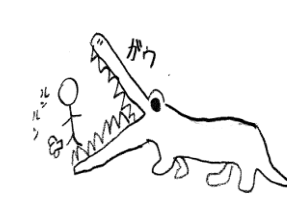
家族と共に悩みながら、Sさんの毎日に真摯に関わってくれた介護スタッフはじめ、大勢の専門職の方々に、改めて感謝致します。

しかし、結果良ければ全てよしではない。私の中で自問自答は続いている。胃瘻やIVHを勧めた方が良かったのかもしれない。(M・T)

小学1~5年生KIDが4コマ漫画を描き、その中で選りすぐりの一枚を選び、掲載♪

どれがいい?

いえがわにの中!!!



まうりやじたいのいじ

